

仕事を固定しないことが長期雇用につながった！

# 株式会社赤碕トランスネット

鳥取県中部に位置する「株式会社赤碕トランスネット」は、10年以上に渡って障がい者雇用に尽力され、令和5年度には同社の鐵本様が長年に渡り勤務され、模範的な職業人として業績をあげている「優秀勤労障がい者」として知事表彰を受けられました。令和7年2月に鳥取県、鳥取労働局、鳥取障害者職業センターが連携して開催した「障がい者雇用企業見学会」で訪問させて頂きました内容を、2回に分けてご紹介させていただきます。



前列向かって右から2番目が鐵本さん



## 【会社概要】

- 所在地：鳥取県東伯郡琴浦町八幡174-1
- 事業内容：廃棄物収集運搬処理業
- 従業員数：44名(内障がい者数：1名)

## 【近年の取組】

- ・循環型社会の実現のために廃棄物のリサイクル率100%を目標に掲げ、今年度はリサイクル率93%を目標に活動されておられます。
- ・地域への貢献を企業の社会的責任として、地域の課題となっている耕作放棄地を活用し野菜などの栽培に取り組まれています。  
※事務所や道の駅「ポート赤碕」では栽培した野菜の販売を行っておられます。
- ・従業員の満足度向上に努めておられ、近年若手社員2名が「ロコミ」で入社されたとのことでした



販売されている野菜

## 障がい者雇用に取り組まれた経緯を教えてください

障害者就業・生活支援センター「くらよし」から障がい者雇用を勧められたことから、当社としても取組を開始したことが始まりでした。

## やって頂く業務はどのように切り出されましたか？

特別に検討した訳ではありませんが、当社としてやって頂きたかった「紙の回収業務」に取り組んで頂きました。

## 切り出された業務で上手く定着されたのですね？

「いいえ！上手くいきませんでした」

私の前任から引き継いだ話ですが「紙の回収業務」では結果的に1人作業となる事が多かったようで、これが仕事のストレスに繋がったようです。そこでその業務に拘らずに、同僚と一緒に作業が行える「回収品の分別作業」に従事して頂きました。それが上手くいって現在「専属担当」として同僚からも頼られる存在になっておられます。

## まさに適材適所への配置転換だった訳ですね。

結果的にそうっただけかもしれませんが、これは障がい者に対する配慮に限らず、一般社員にも当てはまることだと思います。こういった経験が社員に気を配るといふ会社の風土づくりに繋がったと思います。

障がい者雇用に取り組まれる企業の一番のお悩みは、障がい者にどのような仕事をやって頂くのか？いわゆる仕事の切り出しです。確かに障がい者雇用は一般社員以上に仕事への「配慮」が必要となります。

よって採用される企業では「仕事の切り出し」には慎重になられ、それができないと「雇用は無理」との判断になりがちですが、(株)トランスネットの様に仕事を固定しないことも、障がい者への「配慮」として考えるべき内容でもあるようです。



取組について語られる 森木部長

＜お問合せ＞

鳥取県 商工労働部 雇用人材局 雇用・働き方政策課

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220 TEL:0857-26-7693 FAX:0857-26-8169 メール:koyou-hataraki@pref.tottori.lg.jp